

一筆啓上 50周年“破の刻”に向けて

(序破急の破・企画書に替えて)

2006年10月18日は下北沢住民にとって忘れてはいけない日になった。それは「下北沢再開発」を巡る展開に於いて“敗戦日”になったからである。

前日の10月17日に危機感を意識して、私が住民原告者の代表として立ち上げた「下北沢商業者協議会」は世田谷庁舎にデモを指導して、翌日の「世田谷区都市計画審議会」の中止及び審議員の改変を求めたが無残にはね返された。

翌日の区側寄りの審議員で構成された「都計審」で、1.補助54号線道路（鉄道を跨ぐ環七幅の新道路建設）、2.区画街路10号線（駅前広場かバスロータリー）と共に、第3の都市計画「駅周辺地区地区計画」も、安易に審議会を通過した。殆ど内密にされた第三の今日に至る計画が下北沢の街を分断する元凶となった。つまり、駅前とかでなく下北沢の広範囲に7階建てを可能にする「駅周辺地区地区計画」に多くの大家や地主が乗り出して、借用者に契約破棄と退去を迫って来た現実、翌2007年に「下北沢商業者協議会」が中軸として立ち上げたシンポジウムとライブの文化イベント運動「シモキタヴォイス」で以降、毎年議題に取り上げて危険視してきたが、現在に於いても、未だ未だ多くの賃貸借物件に同様の発生している。

約47年間、借地権者を大家として賃貸借してきた「レディ・ジェーン」こと、2020年後大家が地主に替って、退去指令の強圧度が凭り本格化して、遂に運営続行を中止せざるを得なくなり、ここに契約破棄の調印に応じることとなりました。

撤退期限は1月に50周年を迎えるばかりの2025年4月15日です。劇場ザ・スズナリの好意により空けて戴いた4月16日～20日の期間を「50周年“破の刻”」と題してクロージング・イベントを行います。詳報未定です。

皆さまには、万象ご判断宜しく願いしつつ、ご報告致します。

2024年4月15日「レディ・ジェーン/ビグトリィ」大木雄高

株式会社ビグトリィ 代表取締役 大木雄高

〒155-0032東京都世田谷区代沢2-20-12

TEL : 03-3419-6261 / FAX : 03-3419-6848

E-mail : bigtory@mba.ocn.ne.jp Web Site : <http://bigtory.jp>

下北沢 LADY JANE

〒155-0032 世田谷区代沢 5-31-14 TEL : 03-3412-3947